



- ロジック信号で動作中に極性変換可能
- 優れたレギュレーション、低リップル
- 250ms以内での極性反転
(100msまで向上のためのオプション)
- 電圧および電流モニタ出力
- リモート高圧インヒビット
- フライング高圧出力ケーブル
- 電圧または電流コントロールのオプション

www.spellmanhv.co.jp/manuals/MX10

MX10はよくレギュレートされた高性能DC-DCコンバータで、“動作中極性変換可能な”両極性機能が特徴です。MX10の低リップル仕様で従記の質量分析アプリケーションでの使用が理想的になりました。キャピラリ電気泳動および静電印刷アプリケーション同様、特に、セキュリティ探知装置、ダイノード、サンプル・イオン化です。

MX10は100 μ Aで10kVに定格で、絶縁型メタル・ケースに密閉されています。本ユニットはロジック信号入力の特徴とし、出力極性反転をコントロールします。電圧電流モニタとともに、高圧インヒビットが得られます。

OEM条件に見合うべく容易にカスタマイズ出来、MX10をリップルの改善およびより高い電圧電流特性が可能です。

用途

質量分析計
キャピラリ電気泳動
静電印刷

オプション

VCC：電圧および電流コントロール

仕様

入力電圧： +24Vdc、 $\pm 1V$
 入力電流： <400mA 連続
 <1.2A 反転中
 出力電圧： $\pm 200Vdc \sim \pm 10kV$
 出力電流： 0~100 μ A最大
 極性： ロジック信号でリモートによる反転、250ms
 で $\pm 2\%$ に到達、1Hz最大スイッチ速度
 電圧変動率： 負荷：ゼロからフル負荷変動で最大出力電圧の
 0.1%
 入力：1V入力ライン変動で最大出力電圧の
 0.1%

電流変動率(VCCオプション)：

負荷：0~100%の電圧変動に対して最大定格電流の0.1%

入力：1V入力ライン変動で最大定格電流の0.1%

電圧 / 電流プログラミング：

0~10 V が0~100%の定格出力電圧に対応

電圧 / 電流モニタ：

0~10 V が0~100%の定格出力電圧に対応

プログラミングおよびモニタ精度：

$\pm 2\%$

リップル： $\leq 0.005\% V_{p-p}$

安定度： 0.1% / 時間(1時間のウォーム・アップ後)

温度係数： $\leq 100ppm / ^\circ C$

環境： 温度範囲：

周囲温度(動作時)：0 $^\circ C$ ~40 $^\circ C$

保管時温度：-40 $^\circ C$ ~85 $^\circ C$

湿度：10%~90%、非結露

冷却： 還流空冷

サイズ： 41.5(H)×168(W)×115(D)mm

重量： およそ1.4kg

インターフェース / 電源コネクタ：

9ピン・オスDコネクタ

高圧出力コネクタ：

1メートルのURM76 LSFケーブルのフライング・リード

規制認可： 2004/108/EC、EMC指令および

2006/95/EC、低電圧指令に準拠

MX10端子台9ピン

JB1	シグナル	シグナル・パラメータ
1	Voltage Monitor	0-10V=0-100% of Rated Output
2	External Inhibit Input	Open or >10V = "OFF"; <4V = "ON"
3	Current Programming Input	0-10Vdc = 0-100% of Rated Output (on VCC option)
4	Signal Ground	Signal Ground
5	Current Monitor	0-10Vdc = 0-100% of Rated Output
6	Polarity Control Input	Open or >10V = "NEGATIVE"; <4V = "POSITIVE"
7	Voltage Programming Input	0-10Vdc = 0-100% of Rated Output
8	+24V Input	+24V Input
9	Power Ground	Power Ground

単位 : inch[mm]

SIDE VIEW



TOP VIEW

